

2022年2月16日

各 位

会社名 株式会社スターフライヤー
 代表者名 代表取締役社長執行役員 白水 政治
 (コード番号：9206 東証第二部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 柴田 隆
 (TEL 093-555-4500)

通期業績予想に関するお知らせ

当社は、2021年4月30日に公表した「2021年3月期 決算短信」において未定としておりました、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想（A） （2021年4月30日）	—	—	—	—	—
今回修正予想（B）	20,500	△6,000	△5,800	△4,700	△1,640.33
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（％）	—	—	—	—	
（参考）前期実績 （2021年3月期）	18,295	△11,239	△11,356	△10,067	△3,513.61
（参考）前々期実績 （2020年3月期）	40,416	3	46	△400	△139.91

2. 修正の理由

2022年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算出することが困難であったため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、公表することといたしました。

同感染症の拡大による航空需要の急激な減退に伴い売上高は大幅な減少が続いておりますが、徐々に需要は回復し、12月単月では90百万円の営業利益となるなど業績は確実に改善傾向にありました。しかしながら、1月からの感染再拡大の影響は大きく、2022年3月期の売上高は2020年3月期実績比で約50%水準に留まるものと見込まれます。これに対し、機材（JA08MC、JA23MC）減少による固定費（航空機材費）の削減や、一部路線の減便および運休に伴う生産調整による変動費（航行費や運送費など）の削減に加え、プロジェクト体制でのコスト削減や生産性向上の取り組みを進めておりますが、売上高の大幅な減少をカバーしきれず、営業利益段階から赤字となる見込みです。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。特に、同感染症の拡大状況や影響範囲等は今後変動する可能性があり、当社の業績に重要な影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

以上